

施策分析シート（令和4年度）

No1

施策名	快適な生活道路の整備	施策No	08-03	部課名	防災都市づくり部土木管理課
				課長名	村山 内線 2710

関連部課名	防災都市づくり部基盤整備課、建築指導課				
-------	---------------------	--	--	--	--

行政評価	分野	IV	環境先進都市		
事業体系	政策	08	良好で快適な生活環境の形成		

目的	区民に最も身近な都市施設である道路を誰もが安全に、かつ、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理を行うとともに、拡幅・改修等を行う。				
----	--	--	--	--	--

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		元年度	2年度	3年度				
	①	周辺環境の快適さ	3.06	－	3.10	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？		
	②	防災性	2.33	－	2.32	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？		
	③	安全・安心の実感	2.69	－	2.76	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？		
④								
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明	
		元年度	2年度	3年度	4年度 見込み	目標値 (8年度)		
	①	陳情件数(件)	1,000	920	911	900	860	平成18年度件数(2,129件)の縮減 (道路・街路灯等)
	②	細街路後退用地整備率(%)	45	46	47	48	52	整備延長／整備対象道路延長両側 (自主整備含む)
	③							
	④							
	⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		2年度	3年度	差額	行政収入	勘定科目		2年度	3年度	差額
	給与関係費		177,103	151,743	▲ 25,360		地方税等		0	0	0
	物件費		216,144	204,678	▲ 11,466	行政収入	国庫支出金		5,000	4,544	▲ 456
	維持補修費		363,422	287,804	▲ 75,618		都支出金		50,968	8,590	▲ 42,378
	扶助費		0	0	0		分担金及び負担金		0	4,774	4,774
	補助費等		48,673	43,945	▲ 4,728		使用料及び手数料		756,832	759,621	2,789
	減価償却費		138,627	138,627	0		その他		82,024	93,451	11,427
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0		行政収入合計(a)		894,824	870,980	▲ 23,844
	賞与・退職給付引当金繰入額		33,037	70,775	37,738		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 448,728	▲ 324,463	124,265
	その他行政費用		366,546	297,871	▲ 68,675		金融収支差額(d)		▲ 1,093	▲ 895	198
	行政費用合計(b)		1,343,552	1,195,443	▲ 148,109		通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 449,821	▲ 325,358	124,463
	特別費用(g)		0	28,987	28,987		特別収入(f)		0	64,299	64,299
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	35,312	35,312		当期収支差額(e)+(h)		▲ 449,821	▲ 290,046	159,775

貸借対照表	勘定科目		2年度	3年度	差額	流動負債	勘定科目		2年度	3年度	差額
	収入未済		689	457	▲ 232		還付未済金		0	0	0
	不納欠損引当金		0	0	0	流動負債	特別区債		13,678	8,015	▲ 5,663
	その他の流動資産		0	0	0		賞与引当金		9,260	8,501	▲ 759
	有形固定資産		190,144,679	190,660,928	516,249		その他の流動負債		0	0	0
	土地		176,546,032	176,657,327	111,295		固定負債		189,683	194,187	4,504
	建物		0	0	0		特別区債		84,513	76,498	▲ 8,015
	建物減価償却累計額		0	0	0		退職給付引当金		105,170	117,689	12,519
	工作物等		16,305,540	16,849,122	543,582		その他の固定負債		0	0	0
	工作物等減価償却累計額		▲ 2,706,893	▲ 2,845,520	▲ 138,627		負債の部合計		212,621	210,703	▲ 1,918
	無形固定資産		0	0	0		正味財産		190,090,315	190,529,998	439,683
	建設仮勘定		156,356	78,104	▲ 78,252		正味財産の部合計		190,090,315	190,529,998	439,683
	その他の固定資産		1,212	1,212	0		負債及び正味財産の部合計		190,302,936	190,740,701	437,765
	資産の部合計		190,302,936	190,740,701	437,765						

財務諸表に関する特措事項等

- 行政費用の物件費は、街路樹やグリーンベルトの管理、道路清掃等に係る費用である。
- 行政費用の維持補修費は、主に道路改修費や道路応急工事費であり、令和2年度はスポーツセンター周辺の道路改良工事や路面下空洞化対策工事を実施したため、令和3年度よりも費用が高くなっている。
- 行政費用のその他行政費用は、主に電線共同溝整備に伴う移設補償費や私道整備工事費である。
- 行政収入の分担金及び負担金は、電線共同溝整備に係る建設負担金である。
- 行政収入の使用料及び手数料は、主に電柱等の道路占用料である。その他は、占用工事道路復旧費である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○平成26年度に道路ストック総点検を実施し、アスファルト舗装の路面性状調査（ひび割れ、わだち掘れ、凸凹確認等）の健全度を確認した。 ○平成29年度から平成30年度の2年間で、路面下空洞調査を実施し、発見した空洞箇所については、占用企業者と連携補修を実施した。 ○平成26年度にＪＲ東日本と共同で、紅葉坂跨線人道橋について耐震診断、部材の健全度調査を実施し、平成27年度に架替え、補修、バリアフリー化について検討を行い、バリアフリー化を基本とした整備を実施することとした。その後、令和元年度は、エレベーター及びエスカレーターの設置に向け、概略検討を行った。また、バリアフリー工事の実施には、時間を要するため、令和元年度に高欄の塗装工事を実施した。さらに、令和２年度には、より具体的な調査、検討を行い、課題の抽出を行った。 ○本区が管理している下御隠殿坂跨線道路橋と第二日暮里跨線橋の２橋の道路橋５年に１度の法定点検において、予防保全を講ずる段階との判定が出ており、機能維持のために対策を講じていく必要がある。 ○荒川区バリアフリー基本構想及び重点整備地区の基本構想等に基づき、道路のバリアフリー化に取り組んでいる。
課題	○道路ストック総点検の結果を踏まえ、危険度の高い箇所については既に対応が完了しているが、引き続き損傷や陥没等、道路における機能不全の早期発見に努めていく必要がある。 ○路面下で発生している空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がる可能性があるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念されることから、引き続き対応する必要がある。 ○紅葉坂跨線人道橋については、エレベーター及びエスカレーターの設置に向け、引き続き検討を進めるとともに、ＪＲ東日本や京成電鉄、第六建設事務所、道路占用企業者、交通管理者と協議を行う必要がある。 ○跨線道路橋は、ＪＲ東日本や京成電鉄の営業線路上空を跨いでおり、予防保全のための補修工事を行うには、莫大な経費と工事期間が必要となることから、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的に補修を実施していく必要がある。 ○バリアフリーに対応していない路線や、街路樹の根上がり等により安全な通行に支障がある路線等については、計画的に改修を進めていく必要がある。
今後の方向性	○道路ストック総点検については基本的に、５年毎に実施し、損傷状況に応じて優先順位を付け、補修を行っていく。 ○路面下空洞調査については、舗装点検要領（国土交通省道路局）が定める点検頻度の５年に１回程度以上に倣って定期的に実施し、道路の安全性を確保する。 ○紅葉坂跨線人道橋のバリアフリー化については、引き続き検討を進める。 ○第二日暮里跨線道路橋、下御隠殿橋の補修・補強に向けて検討を進める。 ○バリアフリーに対応した歩行空間を整備するため、段差解消や歩道のセミフラット化などを無電柱化に併せて進めていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
４年度	５年度	
推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		2年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
道路占用等事務	11-03-01	24,470	29,907	1,595	1,536	継続	継続	道路及び公園を適正な状態で管理する上で必要な事業であるため、継続して実施する。
道路管理システム運営	11-03-03	20,879	7,648	2,792	2,715	継続	継続	道路管理事務や占用企業者の申請処理業務など、事務の効率化に必要な事業であるため、継続して実施する。
占用工事道路復旧事業	11-03-04	41,397	60,761	30,758	48,426	推進	推進	占用工事に伴う工事調整や復旧整備は、道路の良好な維持管理に不可欠な事業であるため、推進する。
道路管理事務	11-03-05	82,065	106,111	33,123	30,891	推進	推進	道路を適正に管理するために必要な事業であり、推進する。
日暮里駅前イベント広場等の運営管理	11-03-11	1,596	0	—	—	継続	継続	地域活性化イベントの開催を目的とした広場の適正な管理運営を行う事業であるため、継続して実施する。
道路ストック総点検事業	11-04-03	35,255	7,719	33,937	6,485	推進	推進	定期的に点検を実施することにより、道路利用者及び第三者への被害防止のための事業であるため、推進する。
道路清掃事業	11-04-04	75,181	72,360	64,484	63,222	継続	継続	道路を安全で快適な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路維持事業	11-04-05	225,774	241,112	75,623	76,943	継続	継続	道路の機能を常に良好な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路損傷復旧事業	11-04-06	7,204	4,295	0	0	継続	継続	道路附属物等の損傷に対応する手段の一つとして必要な事業であるため、継続して実施する。
道路応急工事事業	11-04-07	86,602	90,522	84,510	84,719	継続	継続	道路を常に良好な状態に保つため、緊急に対応する工事は不可欠な事業であるため、継続して実施する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		2年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
街路樹等管理事業	11-04-09	67,278	82,723	61,799	71,666	推進	推進	都市景観の形成や環境問題、更には災害時の減災の観点から、街路樹等を適正に維持管理する事業であるため、推進する。
道路改修事業	11-04-10	316,943	148,704	331,439	338,741	継続	継続	安全かつ安心して通行できる道路となるよう計画的な改修が必要な事業であるため、継続して実施する。
紅葉坂跨線人道橋整備事業	11-04-14	16,934	0	13,420	—	重点的に推進	重点的に推進	当該跨線人道橋はＪＲや京成の線路を跨いでおり、健全な状態を維持していくことが必要な事業であるため、重点的に推進する。
私道整備事業	11-04-19	39,377	47,256	34,830	37,501	継続	継続	公道を補完する機能を有する私道についても、公道に準じた整備を行う必要がある事業であるため、継続して実施する。
細街路拡幅整備事業（工事）	11-04-20	244,653	241,338	472,757	471,460	重点的に推進	重点的に推進	防災性の向上や居住環境の改善を図る上で、細街路の拡幅は重要な事業であるため、重点的に推進する。
細街路拡幅整備事業（助成）	11-05-01	57,943	54,988	25,027	31,521	重点的に推進	重点的に推進	密集地域の防災性の向上及び住環境改善を図る事業であるため、重点的に推進する。
合 計		1,343,551	1,195,444	1,266,094	1,265,826			